

社協だより

こころ

・KOKORO・

手と心
つないで築く
京丹後

第109号
令和8年1月10日発行



新しい年へ思いを込めて 皆で楽しく餅花づくり

健やか生きがい教室(久美浜会場)

● 目 次 ●

P2～P3 新年のあいさつ

P4～P5 福祉委員アンケートの分析

P6 ボランティア活動支援

P7 生涯現役を支える

P8 お知らせ



誰もが支え合い

住み続けられる社会の実現を目指し



新年、明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、昨年は地域福祉を推進するため、本会の実施する事業へのご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年は団塊の世代が全て後期高齢者となり、5人に1人が75歳以上、そして3人に1人が65歳以上となるなど、2025年問題が大きく取り上げられました。また少子化も進行する中では、過去最低の出生数であることも予想されており、増加する高齢者や減

少する生産労働人口などを背景に、あらゆる分野での対応や社会全体での仕組みづくりの検討が求められています。

また、市民生活に目を向けますと、「コロナ禍から続く物価高騰や一昨年から続く米の価格の高騰が生活を圧迫しています。こうしたことへの対応も含め、最低賃金が3年連続で大幅に上がる中、新たな政府により物価高対策を最優先に、ガソリンの暫定税率の廃止、年収の壁の見直し、電気やガス代支援、食料品等購入支援に係る地方自治体支援、子育て応援手当など18兆円規模の補正予算が年末に国会で成立しました。

本会では、昨年、市と連携して進めている地域共生ステーション事業により積極的に地域に向き、4月から始まった重層的支援体制整備事業の中で地域の包括的支援を目的に、相談業務や地域課題の

検討及び対応を実施しているところ です。

また、市内中学校の使用しなくなった制服や柔道着を募り、必要な生徒に無償で提供する「制服リユース」事業を始めたほか、介護予防事業として市から受託している「健やか生きがい教室」については、10月から新たに網野会場を開設しました。

これ以外にも、市役所増築棟工事の中で、8月にプレオープンした峰山庁舎2号館の中に峰山支所が入り業務を開始しており、大宮支所についてもこの春から大宮庁舎の中で業務を開始する予定となっております。

本年の新たな取り組みとしては、高齢者世帯や独居世帯の増加に伴い判断能力の不十分な人への対応として、成年後見制度における法人後見について検討を進めてきており、今年の春からの実

社会福祉法人

京丹後市社会福祉協議会

会長 藤井 美枝子

施を目指しています。

また、地域の状況や課題を、地域に住まう多様な人で話し合える場づくりを考えており、本会としても様々に対応できる柔軟性を持った事業運営を心掛け、地域や市民に寄り添える福祉の担い手を目指します。

さて、本年は、60年に一度の丙午（ひのえうま）の年に当たり、「情熱と行動力で突き進む」「燃え盛るようなエネルギーで道を切り開く」など情熱や変化を象徴する年とされています。本会としても、誰一人置き去りにしない福祉を実現する情熱と、誰もが支え合い住み続けられる地域共生社会の実現を目指し、法人後見の実施など体制を変化させ、京丹後市と共に福祉の両輪として邁進して参ります。

本年が皆様にとりまして、幸多き一年となりますように、ご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

たすけあい、あたえあい、
誰もが喜びを豊かに育みゆくとしへ

ー京丹後には、考えつくせないほどの夢や可能性、豊かさへのタネが埋もれている！ー

京丹後市長

中山 泰



あけまして
おめでとうござります。

皆様におかれましては、令和8年の新春をすこやかに迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

日頃は、藤井会長様をはじめ役員、会員の皆様には、日頃より、様々な分野で地域社会福祉の推進を積極的にけん引いただくとともに、安心と笑顔広がる社会づくりに多大なご貢献をくださり、心より感謝を申し上げます。

昨年は、生活にお困りの世帯への「フードパントリー事業」の継続実施、新たに子育て世帯の経済的

な負担の軽減を図る「中学校制服のリニューアル事業」の開始、地域と一緒にになった身近で総合的な相談窓口である「地域共生ステーション」の運営、全ての人が地域でつながりを持ちながら暮らししていけるよう「ふれあい居場所づくり」への支援など、地域における福祉活動の『巡活結』として地域共生社会の構築に向けご尽力いただき、敬意とともに感謝にたえません。

本市では、市民一人ひとりが幸福を一層実感できる市民総幸福の発展に向け、新たに子育てアプリの導入、産前産後支援、寄り添い支援総合サポートセンターの拡充など重層的支援体制の整備、介護人材確保の支援、AI活用した認知症相談システムの導入、新コミュニケーションや公共ライドライシエアの全市展開、「ふるさと納税」の推進、ヘルスツーリズムの展開、世界初となる「第1回世界長寿サミット」の開

催、市役所峰山庁舎2号館の供用スタートなど、各分野で取り組みを全力で進めてきました。

現在、再検討中の子育て支援・図書館等の都市拠点公共施設の整備など、課題は山積しています。ただ、課題・困難は、きつと、解決策を、その中に一緒に「連れてきてくれている」と確信しています。

「課題」という贈り物の中に秘められた宝物に感謝して、そこから解決策を見つけて取り出していく。そして、皆で力を合わせて合つて、課題の中から、希望と安心を育み、活力と魅力に磨いていく。社会課題を宝・資源に循環させていく、新・循環型のまちづくりを、市民の皆の力を合わせて進めてまいります。

京丹後市は、多彩な産業や人材、美しい自然環境、豊かな百歳長寿や食の資源、全国第一号の

「美食都市」、そして「古代丹後王国」「日本のふるさと」の歴史文化など、これからの時代に求められる宝の原石、素晴らしい魅力にみちあふれています。

京丹後は今、「時代の追い風」をいただいています。「追い風」は前進の力に、「課題・困難」は宝に化えて浮揚・発展の力にして、誰ひとりおきざりにされない、ささえあい、たすけあい、あたえあい、誰もが喜びを豊かに育みゆくとしへ、皆で一緒に前進してまいります。

最後に今、世界では、中東やウクライナでの戦闘がなお終結に至らず、ともに一刻も早い、戦闘の停止と平和の回復を市民の皆様と共に心から求め、祈念をいたします。

本年が皆様にとってますます喜びの多い豊かな年でありますこと心から慶び、お祈り申し上げます。新春のごあいさつとさせていただきます。

みんなでつくる まちの福祉

地域の課題に向き合う福祉委員の取り組み

京丹後市社会福祉協議会では、地域における福祉活動の担い手として「福祉委員制度」を設けています。福祉委員とは、区長や連合区長の推薦を受け、本会長が委嘱する福祉ボランティアです。

福祉委員は、身近な地域の困りごとや気になることを把握し、地域の人や福祉関係者と共に支え合い活動、ふれあい活動に取り組み、令和7年12月末現在において市内で587人が活動しています。

本会では、このほど福祉委員活動の現状を把握し、活動しやすい環境を探るために行ったアンケート調査の結果を踏まえ、そこから見える地域の課題とその対応、そして福祉委員の活動支援を考えます。

地域に寄り添う福祉委員活動

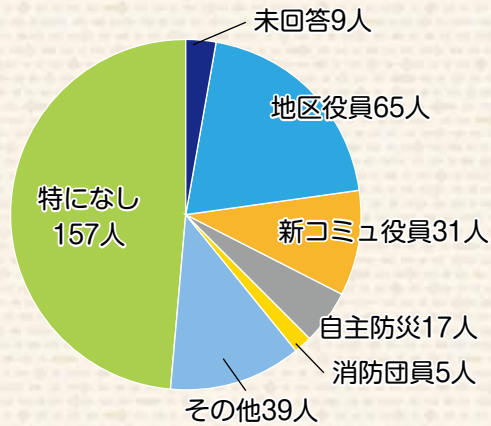
福祉委員は、地域の中で「みつける」「しらせる」「ひろめる」「つなげる」という4つの役割を持って活動しています。

「みつける」では、高齢者宅を訪問などして見守りや声掛けを実施しているほか、「しらせる」では訪問などで気付いた点は区の役員や民生委員と情報を共有しています。

「ひろめる」では、必要な人に介護や子育てに関するサービスの情報を、また健康づくりなどの取組について紹介したり、「つなげる」ではサロン活動などの居場所づくりを通じて、幅広い年代が集い交流できる機会の提供も行っています。

福祉委員アンケート

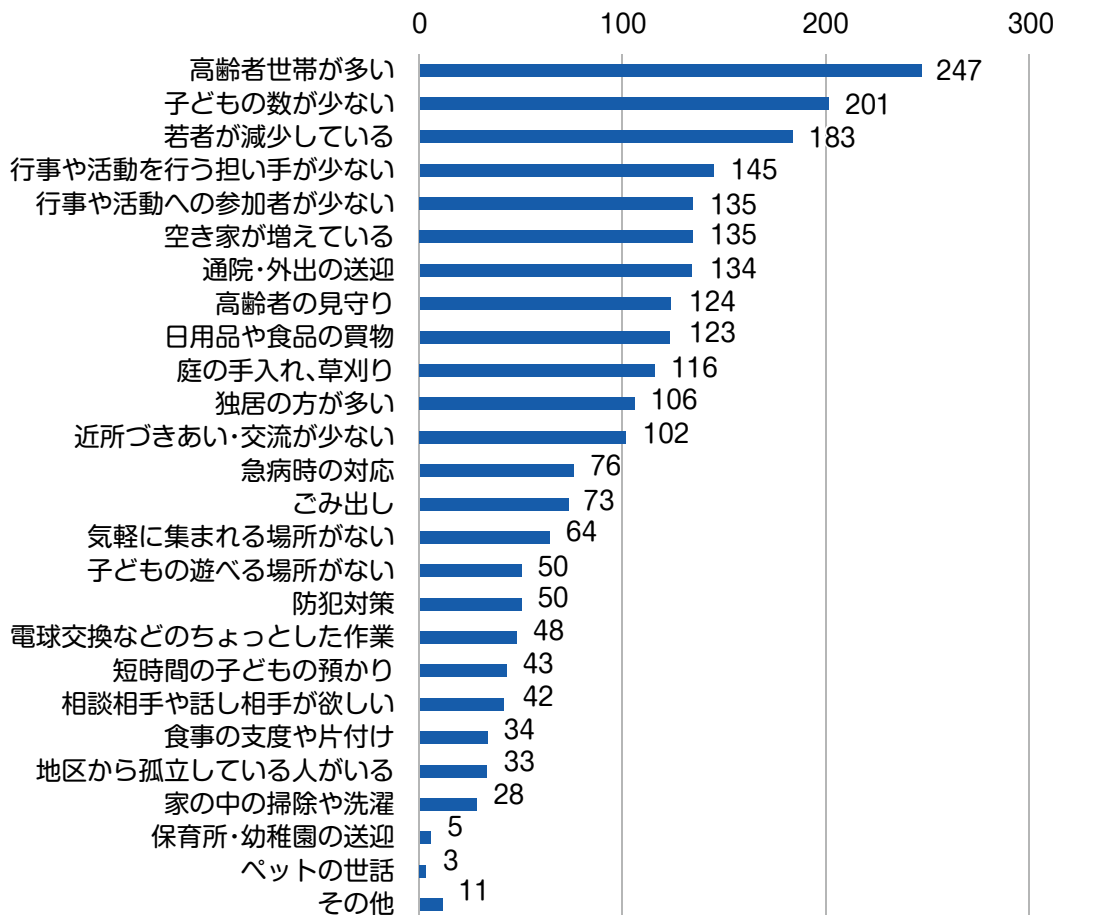
- ◎対象：福祉委員587人
- ◎実施期間：令和7年8月～9月
- ◎有効回答数：293
- ※設問は複数回答あり



役割	高齢者対象	訪問活動	子ども対象	防犯活動	話し相手	その他
みつける	152	42	29	17	9	14
しらせる	区役員や民生委員	他の福祉委員	相談支援機関	その他		
	120	72	9	4		
ひろめる	防犯講座開催	福祉講座開催	広報紙発行	防災講座開催	その他	
	42	37	37	22	11	
つなげる	多世代交流	子育て中の保護者の居場所	子どもの居場所	高齢者の居場所	協力体制づくり	その他
	94	35	20	156	23	8
その他	除雪活動	家事手伝い	その他			
	65	15	11			
未回答	未回答					
	36					

福祉委員活動の4つの役割による活動状況(アンケートより)

福祉委員アンケートの分析



福祉委員が活動する中で見えてきた地域の課題（アンケートより）



鳥取区福祉委員会主催サロンで行われたファッションショー

見えてきた課題

福祉委員は、地域において高齢者が占める割合の増加に対して子どもや若者が減少するなど、年齢層の不均衡が問題と感じているほか、企業の定年延長に伴う地域活動の担い手不足により、特定の人に負担がかかっていること、また災害や除雪、防犯等への対応に不安を持っています。

中には、地域内で連携協力できていることもありますが、活動団

体等が一堂に集まり、共通の課題認識や解決に向けて協議する場がないことや、福祉委員として孤立しがちな高齢者へのアプローチ方法がわからないといった意見のほか、活動資金の問題、集まる場所や移動手段の問題などが意見として挙げられていました。

活動環境の整備

本会としては、福祉委員が活動しやすい環境を整えるため、地域内の役員や関係組織と情報共有して連携するほか、人口減少などにより担い手不足の地域については、共通する生活課題に対して区を超えた広域な協議の場の設定等を検討します。

また、福祉委員活動を、自分たちの地域を暮らしやすくする「みんなでつくる」活動の一つと位置付け、誰もが安心して暮らせるように、未設置地域には地域福祉活動の担い手である福祉委員を養成していきます。

地域の声に応えるために

社会福祉協議会のボランティア活動支援

人口減少と高齢化が進む社会となり、高齢者世帯の増加や近隣住民とのつながりの希薄化、デジタル化による生活の変化など、世帯が抱える課題は多様化しており、既存の福祉などのサービスだけでは十分に支えきれない場面が増えていきます。こうした中で、住民一人ひとりの「できること」が地域を支える大切な力となり、その役割を担っているのがボランティア活動です。

ボランティア活動は、特別な資格や長い時間を必要とするものばかりではありません。話し相手になる、サロンなど気軽に集える場を提供することなどが、誰かの不安を軽くし、また住民の日常を豊かにすることがあります。

本会では、誰もが安心して暮らすことのできる地域をつくるため、ボランティアの養成や活動の場づくりに取り組んでいます。

スマホボランティアの養成

ICT化が進む現代社会において、スマートフォンは情報収集やコミュニケーションに欠かせないツールとなっています。シニア世代からは「スマートフォンの操作や用語について教えてほしい」といった声が、本会にも数多く寄せられています。

こうした地域のニーズに応え



機種によって操作が異なることを体験



分かりやすい言葉かけを考える生徒

るため、株式会社P-over（プロバース）の藤村さんを講師に迎え、丹後緑風高等学校久美浜学舎の生徒を対象に「シニアに教えるスマホの使い方講座」を実施しました。

生徒は、会話中での「投げかけ」や「受け止め・共感」「話すスピード」について自分自身の考えを発表し、実際の困りごとに寄り添う姿勢や分かりやすく伝えるための工夫、また、スマホ用語などを学びました。

この講座は、スマホの使い方学ぶことを目的としたものではなく、地域の高齢者などと積極的に関わる人材の養成を目的に実施したものです。

干支色紙づくりで福を招く

年末までに、多くのサロンで干支色紙づくりが行われ、参加者は手先を器用に動かしながら、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しみました。

色紙づくりの型紙と手順書を考えたボランティアの行待さんは「できる限りパーティーや工程を少なくし、高齢者でも無理なく、楽しんでいただけるように工夫した。多くの場で活用してもらえたら嬉しい」と話していました。



完成に笑顔あふれるサロン参加者



日々を豊かに 生涯現役を応援



新たな仲間と「楽しい」に出会う

本年度は3回の講座を通して作り方を学ぶ「畳の縁を使ったカバンづくり」を実施しました。和柄・幾何学模様など種類豊富な畳の縁を重ねたり折り返したりしながら

高齢期において、趣味や学び、地域活動などを通じて役割を持ち続けることは、心身の健康維持や孤立防止にもつながり、生活の質を高めます。本会では、シニア世代のセカンドライフがより充実したものとなるよう「シニアデビュー講座」という名称で、新たな趣味や生きがいを見つける場を提供しており、それが介護予防や健康維持、新たな仲間との出会いによる孤立の防止につながることを目指しています。

ミシンで縫い合わせ、軽くて丈夫なカバンを作成しました。参加者からは「畳の縁からカバンが作れるなんておどろいた」「自信がついたので、別のことに挑戦したい」など喜びと前向きな声が寄せられました。また、講座の中ではベッド柵カバーや雑巾を作成し、市内の高齢者施設や小・中学校に寄付をしているミシンボランティアの活動を紹介しました。楽しみながら取り組む活動が地域貢献につながっている実例を知った参加者の中には、本会ボランティアセンターに登録し、活動を開始した人もいます。

自分を知り未来を描く「終活」

近年「終活」という言葉を耳にする機会が増えていきます。「終活」は「人生の終わりに向けた準備」というイメージがありますが、本来、自分を見つめ直し、「これからの生き方を考える活動」です。

本会では、自分自身や両親の今後について考え、最期まで自分らしく生きるためのヒントを伝えるため、丹後町と久美浜町で「シニアのためのお片付け講座」を開催しました。

講師からは収納の工夫やアルバム・書籍等の整理といった家庭でできるお片付け術に加え、エンディングノートの活用方法やかかりつけ医との関係構築など「未来じ

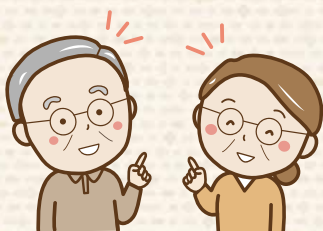


便利な道具を活用する術を学ぶ



分別でゴミを資源に

たく」に関する話がありました。この後、身の回りの片付けにより発生する家庭ごみについては、市生活環境課職員から、プラスチックや不燃ごみの分別、家庭でのリサイクルの工夫などについて学びました。参加者からは「終活は暗いイメージがあったが、今このように生きるかを前向きに考えることであり、良い機会になった」「ごみ分別の曖昧な点が明確になった」という声がありました。





善意のご寄付

あたたかいお気持ちをいただき、ありがとうございました。
(令和7年11月1日～令和7年12月12日受付分)

供養として

野川 大卓 様(大宮町) 100,000円 亡母 操 様

地域福祉事業へ

株式会社ベルマリエ 様(通算232回目) 3,000円
北村 福夫 様(峰山町) 30,000円

ステップあけぼの京丹後支部弥栄町から

12月7日に弥栄地域公民館で「みんなでボランティアしよう!」と題して、市民を対象にバザーやモルックを行ったり、喫茶コーナーではコーヒーやぜんざいを振る舞い交流を深めました。会場には募金箱も設置され篤志金の一部をご寄付いただきました。

4,645円

社会福祉協議会への会費納入のお礼

令和7年度の社協会費の納入につきましては、多くの皆様からご協力をいただきました。心からお礼申し上げます。

皆さまからいただきました会費は、地域福祉活動推進のための財源として、大切に使用させていただきます。

今後とも、社会福祉協議会の活動に対し、あたたかいご支援とご協力をお願い申し上げます。

R7.12.1現在

一般会費	11,566,000円
賛助会費	1,214,000円
ふるさと会費	150,000円
合計	12,930,000円

市役所庁舎の窓口開庁時間の変更に伴う 社協支所窓口対応について

市役所では、令和8年1月5日(月)から各庁舎の窓口の開庁時間を試行的に変更します。これに合わせて、各庁舎内にある本会支所窓口の対応時間も変更となります。

窓口開庁時間 変更後 **9:00～16:30**

該当支所 峰山支所、網野支所、丹後支所、
弥栄支所、久美浜支所

※この時間以外での窓口の対応につきましては、お手数をおかけしますが、事前に各支所に電話でご連絡ください。

雪下ろし助成事業のお知らせ

市の雪害対策本部未設置期間に、業者による雪下ろしを行った対象の世帯に対し、一部費用を助成します。

対象 雪下ろしができる人がいない高齢者世帯及び障害者世帯、またこれに準ずる世帯であり、区長が必要と認めた世帯。

助成額: 上限10,000円
問合せ先: 本所又は各支所



予告 つながる絆フェス

世代や分野を超え、多くの人々が交流する「つながる絆フェス」を今年も開催します。

日時: **3月7日(土) 10:00～13:30**

会場: アミティ丹後

内容: 体験・ステージ・展示・こども広場
模擬店・キッチンカー

詳細は、後日チラシでご案内します。



職員の異動

令和7年12月1日付

【本所】総務課 井垣 真美(地域福祉課 峰山支所)

【ふくじゅ】管理課 谷 葉子(総務課 本所)

()内は前所属

発行 / 社会福祉法人 京丹後市社会福祉協議会

〒627-0111 京都府京丹後市弥栄町溝谷 3464 TEL 0772-65-2100 FAX 0772-65-3294
http://www.kyoshakyo.or.jp/kyotango E-mail: info@kyotango-shakyo.jp
FB アドレス https://www.facebook.com/kyotangoaitan
Instagram アドレス https://www.instagram.com/kyotangoshakyo
京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ専用 HP https://yasaka-fukuju.jp/

峰山支所 (市峰山庁舎2号館内) TEL62-4128
大宮支所 (市大宮福祉会館内) TEL64-2037
網野支所 (網野健康福祉センター内) TEL72-0797
丹後支所 (市丹後庁舎内) TEL75-0808
弥栄支所 (市弥栄庁舎内) TEL65-2100
久美浜支所 (市久美浜庁舎内) TEL82-0008